

取扱注意

資料 2

肖像権の都合により写真は非表示



群馬・スコットランド共同研究

令和7年11月スコットランド渡航報告



令和8年3月17日

総務課学びのイノベーション戦略室政策企画係

令和7年11月スコットランド渡航報告

概要

目的：

群馬県教育委員会がスコットランドと実施している非認知能力の評価・育成事業における共同研究において、県内学校で実践した取組や事務局の取組を報告するとともに、学校運営、指導法、アセスメントについて具体的な方策について意見交換を行う。また、**「群馬モデル」作成に係る教育実践として両地域の教員及び児童生徒の交流**に向けて協議する。

参加者（計7名）：

総務課学びのイノベーション戦略室政策企画係補佐及び指導主事2名、高校教育課指導主事
群馬県立伊勢崎高等学校（SAH指定校）校長及び教員2名

日程：令和7年11月17日～11月22日

訪問先：

[小学校] ローズバンク小学校

[中等教育学校] グリーンフィールドアカデミー ※令和7年8月開校

[政府機関] スコットランド教育庁

訪問先での活動内容及び成果

ローズバンク小学校（共同研究校）

◆ 活動内容

- ① 授業参観及び施設見学（代表児童による案内（スクールツアー））
- ② 6月訪問以降の教育実践の報告（群馬県立伊勢崎高等学校）
- ③ 教職員（管理職含む）と意見交換、協議
 - ・ 探究的な学びの充実
 - ・ 12のメタスキルを意識した教育活動



体験の履歴を可視化する「グローバルパスポート」

肖像権の都合により写真は非表示

伊勢崎高校教員による実践の報告

ローズバンク小学校（共同研究校）

◆ 成果

① メタスキルを意識化するためのフレームワークの活用

- **12のメタスキル（セルフマネジメント、イノベーション、好奇心など）を小学生段階で意識化するためのフレームワーク**を作成し、活用。
- 本来、中学生から意識させるメタスキルを小学生で扱うことに教員は手応えを感じており、児童と教員との共通理解が図れている。



教室に掲示されたメタスキルのポスター

② ウェルビーイングに関するアンケートの効果

- ローズバンク小学校、伊勢崎高等学校ともに**ウェルビーイングのアンケート**を実施しており、その結果から児童生徒に何が不足し、どのような教育活動や取組が必要かが見えてくるため、**重要性について理解が一致**した。

③ 国や自治体における監査の違い

- スコットランドでは**自治体の監査を毎年4回**実施、国の監査はランダムで学校選出。
- **国の監査結果は全て公表**され、その後の予算等に影響する。

グリーンフィールドアカデミー（共同研究校）

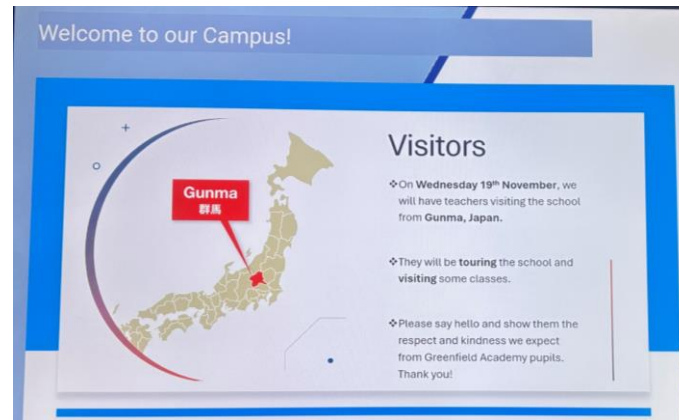
※6月に訪問したクレイギー高校が地域の別の学校と統合し、8月に開校した中等教育学校

◆ 活動内容

- ① 授業参観及び施設見学（代表生徒による案内（スクールツアー））
- ② オンラインによる生徒交流に向けた打合せ（群馬県立伊勢崎高等学校）
- ③ 教職員（管理職含む）と意見交換、協議
 - ・新設した学校の教育目標における教員の目線合わせ
 - ・体験的な学び、探究的な学びの在り方



校舎外観



群馬県からの訪問を生徒に伝える校内掲示

肖像権の都合により
写真は非表示

伊勢崎高等学校校長と
グリーンフィールドアカデミー校長

グリーンフィールドアカデミー

◆ 成果

① オンラインによる生徒交流に向けた調整



グループワークに適した机



座席全体が移動可能なホール

- ・体験的な学びの価値を確認。オンラインによる**生徒交流（グローバルクラスルーム）**を開始予定。また、伊勢崎銘仙やタータンを足掛かりに**文化交流も検討**。

② 統合した2校の教員の共通理解や意識合わせの進め方

- ・3年かけて学校のシステムを話し合ってきたことで、開校時にはある程度の共通理解が図られていた。現在は**生徒の到達目標の教員間の意識合わせの段階**である。

③ 地域のハブとして期待されている新設校

- ・歴史のある地域の2校が統合。約1300名の生徒が通う。**新校舎は生徒の交流を自然と促す環境**となっており、コミュニティスクールとしての機能をもつ。

スコットランド教育庁

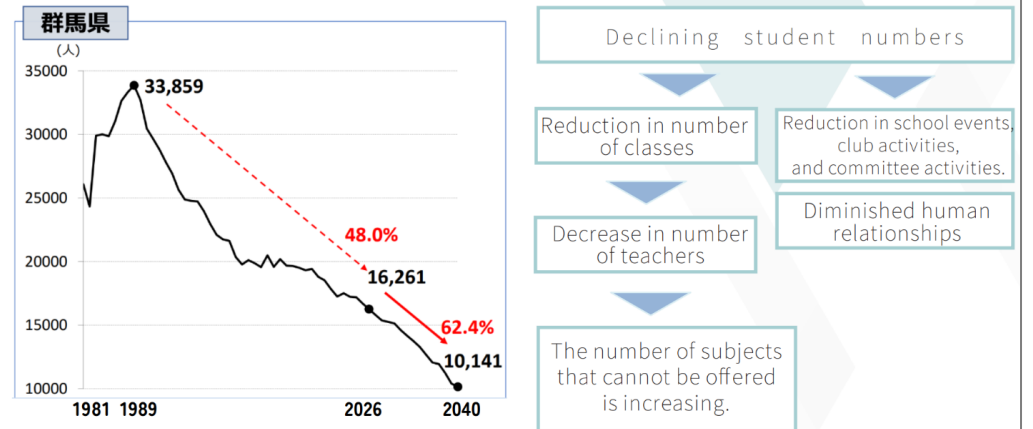
◆ 活動内容

- ① 群馬県立伊勢崎高等学校の実践及び今後の展開について報告
- ② 群馬県とスコットランドの教育について意見交換、協議
 - ・ 野外での学びとその他の教育活動のバランス
 - ・ 魅力ある学校づくり

肖像権の都合により写真は非表示

スコットランド教育庁担当職員との協議

02. Challenges facing Gunma Prefecture



群馬県の少子化の現状説明に用いられたスライド

スコットランド教育庁

◆ 成果

① 野外活動の推奨と学校教育活動に位置付けるための意識合わせの重要性

- ・スコットランドでは国が**最低1週間野外での学びに取り組む**ことを推奨。
- ・チャレンジは大事。しかし、1つのイベント(行事)を入れることで年間の動きに影響することがある。重要なのは**「なぜ、その取組をしているのか」を共有**すること。

② 魅力ある学校づくりに向けた子どもの声

- ・少子化など学校を取り巻く状況は両地域で似ており、同じような問題を抱えている。
- ・子ども達の声聴くことが重要。その際**「WANT (何をして欲しいのか) 」では収集がつかない。「NEED (どうしても必要なことは何か) 」と問うと見えてくる。**

③ 伊勢崎高校・グリーンフィールドアカデミーの交流に期待

- ・グローバルクラスルームや織物をテーマにした文化交流の提案について報告。
- ・知らない国のことを知ることは**創造性を高める取組**であり今後が楽しみである。

参加者の振り返り及び今後の展望

参加者の振り返り及び今後の展望（伊勢崎高等学校）

<振り返り>

- 1年前にスコットランドを訪問し、その教育のよさを知ってから教育活動に取り組んできた。今回の訪問で、これまで**積み重ねてきたことが正しい方向に進んでいる**ということを確認することができた。
- 今後、伊勢崎高校で何をしていくかが固まってきたという思いがある。
- **スコットランドの学校との協働的な教育実践**に向けて具体的な協議ができたので、学校間の交流を着実に進めていきたい。

<今後の展望>

- グラデュエーション・ポリシーを達成するために、生徒と教員が同じイメージをもつことができる**生徒の具体的な行動目標（目指す生徒の姿）**を整備する。
- 伊勢崎銘仙や日本の伝統文化による**探究的な学びで両地域の生徒交流**を促進する。
- スコットランドの知見を生かした取組を**群馬県の他の学校に広げられる形**にする。

参加者の振り返り及び今後の展望（高校教育課）

<振り返り>

- 現地で伊勢崎高校の取組のよさを伝えることができ、また、新たな知見も得られ、今後の伊勢崎高校での取組と**スコットランドの学校との交流推進**につながった。
- 前回と参加者が異なり、**スコットランド教育に理解をもつ教員**がさらに増えた。
- 再編統合の視点から新設校の生徒の様子が印象的であった。生徒は明るい雰囲気です学校生活を楽しみ、教員も生徒も新しい学校で前向きに取り組む姿が見られた。**学校の統合と施設整備は、生徒の学びをよりよくする一つの方法**であると感じた。

<今後の展望>

- 伊勢崎高校とスコットランドの学校との連携、交流が円滑に進むよう、引き続き**学校及び教員をサポート**する。
- スコットランドで得た知見や伊勢崎高校の実践を踏まえ、**SAHの取組をさらに深化させ、群馬県全体への浸透を図る**ため、学校現場に寄り添った支援を継続する。

参加者の振り返り及び今後の展望（総務課学びのイノベーション戦略室）

<振り返り>

- 伊勢崎高校とスコットランドの教員が、直接、顔を合わせることで、今後のオンライン生徒交流や協働的な学びの実現に向けて具体的な意見交換ができた。
- 非認知能力とも重なるメタスキルの目標共有が、校内で効果的に働いている様子は**非認知能力育成におけるフレームワークの重要性とその活用方法**の参考になった。
- 国境を越えた生徒の交流や異文化体験機会の創出は、児童生徒の**好奇心や創造性を高める教育活動**として、両地域が期待している取組であると感じた。

<今後の展望>

- **共同研究2年目の取組の充実に向けて助言や支援**を行う。特に、伊勢崎高校とスコットランドの学校との交流促進のために学校間の調整を図る。
- 得られた知見や実施した取組の成果及び課題を明らかにすることで、非認知能力育成の**群馬モデルを構成する柱の1つとして、まとめに向けた整理**を行う。

まとめ（今後の方向性）

群馬・スコットランド共同研究で**得た知見、成果及び課題を整理し、令和8年度末までに完成予定の「群馬モデル」に反映**させていく。

- (1) スコットランドの学校、自治体、政府との良好な関係を継続しつつ、共同研究2年目の年度末となる令和8年夏に向けて、生徒のオンラインによる交流、学校間の協働的な取組に対して助言、支援を行う。
- (2) これまでに得られた知見、成果及び課題を両地域に還元するため、共同研究の経過を振り返り、**まとめや報告に向けた整理**をする。
- (3) 非認知能力育成の視点から、群馬県の学校に広げていきたい取組や教育活動を明らかにし、**汎用性や再現性を備えた形へと体系化**する。